

建築家 隈研吾氏が手がけたヒノキの香り溢れる空間 原宿にアロマ体験施設「AEA Jグリーンテラス」が誕生 2023年2月1日(水)よりグランドオープン

世界最大規模のアロマテラピー団体である公益社団法人 日本アロマ環境協会(略称:AEA J、会員数約5万人)は、アロマテラピーの魅力をより多くの方々に体感いただき、香り豊かな「アロマ環境」を守るための情報発信を行う基幹施設として、東京・原宿に「AEA Jグリーンテラス」を2月1日(水)よりオープンいたします。



国産ヒノキの組積構造が印象的な空間は、建築家 隈研吾氏によるもの。植物の恵みである精油がもつ力と可能性を、さまざまなコンテンツを通してご紹介します。

<主なコンテンツ>

1. 世界中の精油の香りが試せる 「アロマラボラトリー」

約300種類にわたる世界中の精油の香りを試せるコーナー。なかなか手に入らない、希少な精油も。一部の試香紙は持ち帰ることもできます。



2. 貴重な図書が閲覧できる 「アロマライブラリー」

アロマ・植物・環境に関する貴重な書籍を閲覧することができます。アロマテラピーを軸に、知識を広げられるコーナーです。



3. ヒノキの香りでくつろげる 「アロマラウンジ」

ヒノキの香りに包まれながら、ゆったりと過ごしていただけるスペースです。オリジナルのボタニカルティーをお楽しみいただけます。



<環境に関するコンテンツ>

1. 精油の空きビンをストック 「精油ビン回収ボックス」

精油を使用したあとの空きビンをストック原料として活用するため、精油ビン回収ボックス「AEA J Recycling Box」を設置。どなたでも不要になった精油ビンをお持ちいただけます。



2. 生物多様性を考慮した「アロマコリドー」

エントランスに続く小道には、精油の原料植物となる香りある植物をはじめ、花や果実のある植物を植えることにより、鳥や蝶など多様な生物が集まるスペースとなることを目指しました。合計43種の植物を植えています。



※画像はイメージ

常設のアロマラボラトリーやアロマライブラリーのほか、今後はオリジナルフレグランス作りが楽しめる「Aroma Bar」や、アロマクラフト作り、植物を育む自然環境について学ぶワークショップなどを実施予定です。

【施設概要】

- 施設名： AEAJグリーンテラス（公益社団法人 日本アロマ環境協会拠点施設）
- 所在地： 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前6-34-24
- アクセス： JR原宿駅東口より徒歩7分 東京メトロ明治神宮前駅7番出口より徒歩3分
- 開館時間： 火～土/13:00～18:00（日・月・祝休）
- 利用方法： 「AEAJグリーンテラス 特設サイト」より来館予約
<https://www.aromakankyo.or.jp/greenterrace/>
- 利用料金： 一般/500円 AEAJ会員・18歳未満・障がい者手帳をお持ちの方/無料
※AEAJオリジナルボタニカルティー付き

【公益社団法人 日本アロマ環境協会について】

AEA Jは内閣府に公益認定された、アロマセラピーで唯一の公益法人です。植物の香りをを用いた「アロマセラピー」を通じて人々の心身の健康に寄与することを目的に、アロマセラピーの普及・調査・研究などを行っています。その一環として、アロマセラピー検定をはじめとした各種資格認定による、正しい知識と技能を持った人材育成に取り組んでいます。

<AEA J公式サイト> <https://www.aromakankyo.or.jp>

※AEA J事務局は「AEA Jグリーンテラス」2階となります。



【建築物について】

「AEA Jグリーンテラス」は、人々の心身の健康に寄与し、アロマ環境の保全と創造を図るAEA Jの活動のシンボルとなるよう、建築の設計は木材をさまざまな方法で利用したデザインが印象的な隈研吾氏に手掛けていただきました。そこに集う人々の健康と快適性、そして未来の自然環境保全のため、国産のヒノキやクリ、カラマツといった木材を最大限使用しています。

<特徴>

日本の伝統的な建築手法である木組みを採用することで、鉄骨などを極力使用せず、デザイン性ととも環境配慮を実現。構造躯体に使用する木材は95.5m³、炭素固定量は約75トンに上ります。

参考：林野庁「建築物に利用した木材に係る炭素貯蔵量の表示に関するガイドライン」「令和元年度 森林・林業白書」

<木材使用による地球温暖化防止への効果>

- ・木材は、コンクリートや鉄に比べて製造時のCO₂排出量が少なく済みます。
- ・樹木は成長過程で多くのCO₂を吸収し、木材となっても炭素を貯蔵しつづけます。



建築家 隈 研吾さん

1954年生。1990年、隈研吾建築都市設計事務所設立。慶應義塾大学教授、東京大学教授を経て、現在、東京大学特別教授・名誉教授。30を超える国々でプロジェクトが進行中。自然と技術と人間の新しい関係を切り開く建築を提案。主な著書に『全仕事』(大和書房)、『点・線・面』(岩波書店)、『負ける建築』(岩波書店)、『自然な建築』、『小さな建築』(岩波新書)、他多数。

<本件に関する報道関係からのお問い合わせ先>

公益社団法人 日本アロマ環境協会(AEA J) 広報担当

TEL:03-6384-2861(平日10:00~16:00)

E-mail:aeaj-pr@aromakankyo.or.jp

<AEA J公式サイト><https://www.aromakankyo.or.jp>